

MEET ME AT
EXPO 2025!



堆肥化可能なワンウェイ容器のご提案

2022年9月27日（火）

 **株式会社折兼**

株式会社パックススタイル

会社概要

株式会社 折兼	社名	株式会社 パックスタイル (折兼100%子会社)
名古屋市西区菊井二丁目6番16号	本社所在地	名古屋市西区菊井二丁目6番16号
明治20年7月1日	創業	平成20年7月1日
代表取締役社長 伊藤 崇雄	代表者	代表取締役社長 伊藤 崇雄
500億円(2021年6月期実績) 〔折兼、折兼HD、折兼物流、タニモト、 パックスタイル〕	グループ売上高	
包装資材の専門商社	事業内容	食品包装容器、衛生管理商品の 企画・開発
20ヶ所 (中部、関西、北陸、関東 他)	拠点数	国内外からの調達、販売

大阪・関西万博の運営における資源循環に関わる方向性



会場で使用されるワンウェイ容器

・食品と一緒に堆肥化し、その他の資源化

- ①分解の容易さ
- ②使用する原料の環境負荷の低さや
環境保全の貢献度合い
- ③調達可能性



バガス容器が最適

バガス容器とは…バガスを中心とした非木材をパルプ化し得られた繊維（セルロース）を モールド（金型）成型した容器 ⇒ パルプモールド

使用原材料



バガス (Bagasse)
サトウキビ搾汁後の残渣。
砂糖製造時のボイラー燃料や紙の原料として活用されている。



竹 (Bamboo)
竹の需要が減り、放置竹林により森林荒廃（竹害）の原因となっている。



麦 (Wheat)
非可食部（麦わら）
手間の問題から焼却処理されてきた。

お弁当・惣菜容器



オーダブル容器・ピザ容器



ランチボックス



パックススタイル ラインナップ

どんぶり・カレー



カトラリー・試食カップ



寿司容器



生分解性に関するエビデンス

北九州市立大学との共同研究・共同実験

2021年 土木学会西部支部研究発表会
 2021年 第32回廃棄物資源循環学会
 2022年 第33回廃棄物資源循環学会



学会にて発表

土中において…

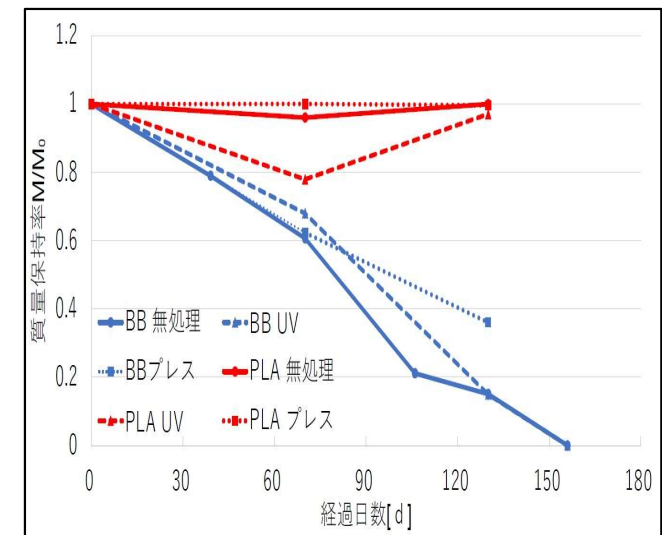
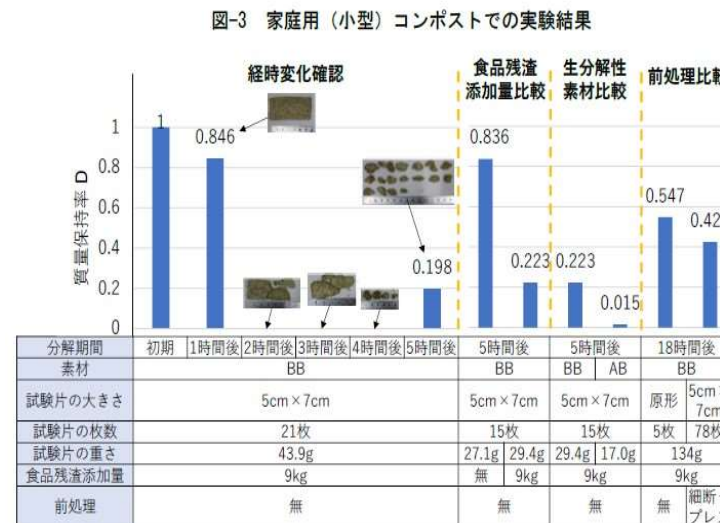
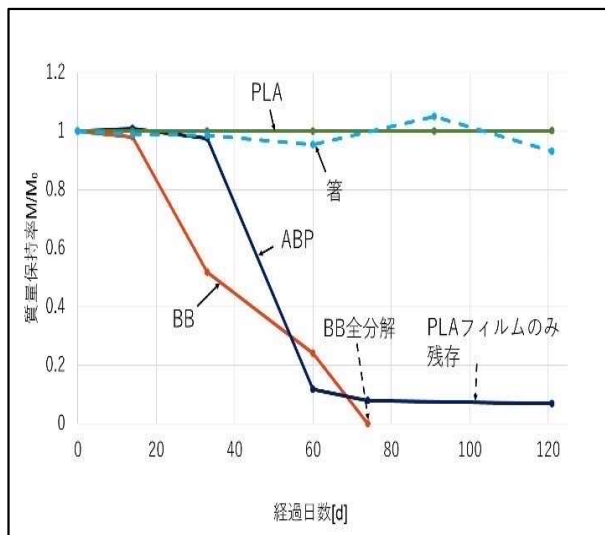
コンポストにおいて…

海洋において…

76日で分解

1日で分解

156日で分解



※BB(竹90%+バガス10%)を使用。

会場内におけるフードサイクリングのイメージ図



食品残渣



バガス容器



会場飲食ブースで使用



野菜栽培



堆肥化

バガス堆肥化における課題点

1. 食品残渣の堆肥化にバガスを混ぜることの安全面

➡ 検証中(1次発酵した堆肥を分析し、安全性を確認)

2. 回収される容器を堆肥化させる能力

➡ バガス容器を分解するのに必要な食品残渣の割合
食品残渣 > バガス容器

↓
コンポストする時に必要な副資材(もみ殻やおが粉など)代替品の可能性

↓
今後実証テストが必要



株式会社折兼

株式会社パックススタイル

取り組み事例

TEAM
EXPO
2025

いどもう。みらいに。
“共創チャレンジ”

TEAM EXPOの共創チャレンジに掲載済

愛知県教育・スポーツ振興財団SDGsキャンプに協力①

全3回でバガス容器や衛生資材などを協力。また、提供したバガス容器は使用後、土に埋めて、生分解性を実験する「折兼バガスチャレンジ！」を企画・実行、SDGs講師として授業を実施。



愛知県教育・スポーツ振興財団とのSDGsキャンプの様子(2022.3.28～29、2022.05.07開催)

POINT

分解される過程に非常に高い興味を示す子供が多く、リピート率が上昇

愛知県教育・スポーツ振興財団SDGsキャンパスに協力②

実際に使用した容器を軽く水でゆすぎ、ポリバケツにて実験。
愛知県スポーツ振興財団の職員によると、7月13日時点でほぼ分解。

2022年3月29日



2022年5月7日



2022年6月12日



社内で分解の実験中

分解される様子を実際に社内で「折兼バガスチャレンジ！」に挑戦中。

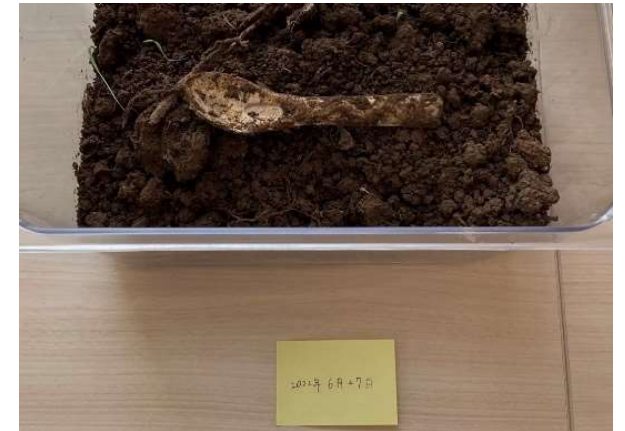
2022年6月13日



2022年6月20日



2022年6月27日



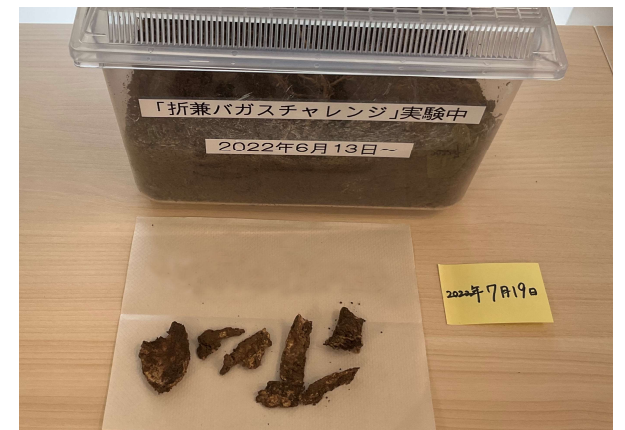
2022年7月4日



2022年7月11日



2022年7月19日



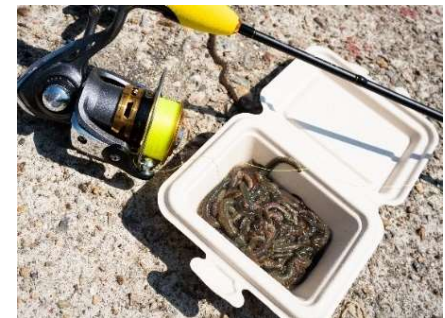
海で分解する釣りエサ容器を共同開発

バガスが海で分解する性質を活かして、一定期間を経て部身で分解する容器を共同開発。
海洋プラスチックごみの削減に貢献できる。

ベイトバガスパック



隙間を軽減できて虫エサが逃げにくい面や、蓋に保冷剤を置くことができるなど機能面でも優れている。



共同開発社:株式会社フィッシングマックス(大阪府泉大津市)

折兼ラボ:海に還る、バガス製の釣りエサ容器を紹介
<https://www.oriikane.co.jp/oriikanelab/17258/>



大阪・関西万博から始まるお弁当のイメージ



現在計画中の案件が多くございますが、
実験結果等は随時ご報告いたします。

本提案書の内容についてご質問がございましたら
下記までお問い合わせください。

<本提案書についての問い合わせ先>

株式会社 折兼 広報・SDGs課

服部 貞典 (ハットリ サダノリ) sadanori-hattori@orikane.co.jp

伊藤 愛恵 (イトウ マナエ) m-ito@orikane.co.jp

TEL : 052-561-3662